

CASBEEウェルネスオフィスの開発に向けて

主催 JSBC 一般社団法人 日本サステナブル建築協会 共催 IBEC 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

後援 (予定) : 国土交通省、(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会、(一社)不動産証券化協会 協力 : スマートウェルネスオフィス研究委員会、知的生産性研究コンソーシアム

2月19日(月) 13:30~16:30 すまい・るホール (東京都文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構本店 1F)

パリ協定等を受けて省 CO2 への取り組みが加速しています。また投資家が投資先企業に対して環境・社会・ガバナンスへの配慮を求める ESG 投資原則や、国連の SDGs (持続可能な開発目標) にもとづき、環境性・健康性・快適性に優れた不動産の供給が求められています。

今、業務の場であるオフィスでは、省 CO2 とともに、いきいきと働くことでより高い生産性が求められるようになり、健康・快適性や知的生産性向上への認識が高まりつつあります。しかし、これらについての共通の指標や評価体系は未だ国際的な合意を得るには至っていません。

「オフィスワーカーが健康な状態で知的生産性の向上を実現する」ことを目指して、スマートウェルネスオフィス研究委員会では評価体系(ウェルネスオフィス評価の枠組み等)の研究に取り組んできました。今回、その成果の一部をご紹介します。今後の展望について考えます。

参加費 : 3,000円/人

※資料、消費税含む

募集人数 : 240名

受付フォーム
ここをクリック

学生の方は、このボタンからお申込み下さい。
参加費無料となります。

※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

I. あいさつ

国土交通省
(一財)建築環境・省エネルギー機構 理事長 村上 周三 氏

II. 基調講演

ウェルネスを中心とした知的生産性向上オフィスへの新たな展開
オフィスのウェルネス認証に係る国内外の動向
村上 周三 氏
ツール開発部会 部会長 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部建築学科 教授 田辺 新一 氏

III. 開発動向ならびに成果の紹介

1) CASBEE-WO 評価ツールの概要企画
評価ツール開発WG 主査 / 千葉大学 大学院工学研究科建築・都市科学専攻 准教授 林立也 氏

2) CASBEE-WO の妥当性、信頼性を支持する客観・主観データと
WFun (産業医科大学労働機能障害測定調査票) の関係性
エビデンス収集部会 部会長 / 慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治 氏

3) CASBEE-WO と経済的価値の検証結果
経済価値調査 WG 主査 / 三井住友信託銀行(株) 不動産コンサルティング部 審議役 伊藤 雅人 氏

4) ウェルネスオフィスの先進事例
健康維持・向上に資する建築事例調査WG 主査
京都大学 名誉教授・(株)ラウムアソシエイツ一級建築士事務所代表取締役 宗本 順三 氏

IV. 質疑・まとめ

司会 : 東京都市大学 名誉教授 坊垣 和明 氏